

(別紙)

平成19年9月10日
林 野 庁

気候変動、エネルギー安全保障、クリーン開発 に関するAPEC首脳宣言の概要

9月8日、APEC首脳会合で「気候変動、エネルギー安全保障、クリーン開発に関するAPEC首脳宣言」がとりまとめられたところ、概要以下のとおり。

1 全体の構成

- 序 文
- 将来の国際行動
- 2013年以降の気候変動の国際的な枠組に向けた支持
- APEC行動指針
- 行動指針（附属書）

2 概要（農林水産省関連抜粋）（仮訳）

(1) 将来の国際行動

- 森林及び土地利用の重要性
持続可能な森林経営及び土地利用は、炭素循環において重要な役割を果たすとともに、2013年以降の気候変動の国際枠組において取り扱われる必要がある。

(2) APEC行動指針

- ・我々は、2020年までに地域の全てのタイプの森林の面積を少なくとも2千万ヘクタール増加させるAPEC全体の希望的な目標を達成することに取り組むことを決定した。もし、目標が達成されれば、概ね14億トンの炭素が蓄積され、それは、年間（2004年）の全世界の排出量の約11パーセントに相当する。
- ・我々は、森林分野の能力向上の推進と情報交換の強化のため、「持続可能な森林経営と森林再生に関するアジア太平洋ネットワーク」の設立を決定した。

(3) 行動指針（附属書）

森 林

森林は、炭素循環において重要な役割を果たしている。持続可能な森林経営の促進、違法伐採対策、内在する経済的・社会的要因への対策によるものを含め、新規植林・再植林を奨励し、森林の減少・劣化及び森林火災を減少させるために、継続的な行動が必要である。このため、我々は、

- ・ 2020年までにAPEC地域の全てのタイプの森林の面積を少なくとも2千万ヘクタール増加させる希望的な地域目標を達成することに取り組むことに合意する。
- ・ 2007年7月にシドニーで立ち上げられた「森林と気候に関する世界イニシアティブ」を歓迎する。
- ・ 「持続可能な森林経営に関する法的拘束力のある枠組」に関し、この問題に関心のある経済国における継続的作業を含め、他の枠組の進展を歓迎する。
- ・ 森林分野の能力向上の推進と情報交換の強化のため、「持続可能な森林経営と森林再生に関するアジア太平洋ネットワーク」の設立に合意する。「アジア森林パートナーシップ」を含む森林に関する全ての地域イニシアティブ間での協働が重要になる。
- ・ 提案されている世界銀行の森林炭素パートナーシップファシリティーも含めた森林プログラムのパートナーシップを発展させるため、関連する国際組織との調整を行う。